

2011年度 第2四半期決算

2011年10月28日

富士電機株式会社

2011年度第2四半期累計業績

売上高の増加と事業構造改革における原価低減および固定費削減により
営業損益が大幅に改善

(単位:億円)

	2010年度 Q2累計	2011年度 Q2累計	増減
売上高	2,975	3,053	78
営業損益	-110	-56	54
経常損益	-167	-98	69
特別損益	239	-47	-286
法人税等	57	-98	-155
少数株主損益	-2	6	8
四半期純損益	17	-54	-71

平均為替レート US\$	¥ 88.95	¥ 79.82	-¥ 9.13
平均為替レート EURO	¥ 113.85	¥ 113.79	-¥ 0.06

営業損益増減

コストダウン	+79	価格ダウン	-50
固定費減	+48	為替影響	-25
物量増・他	+40	素材高騰	-25
		震災影響	-13
	+167		-113

営業外損益増減

為替差損益	+18 (-39→-21)
持分法投資損益	-5 (-8→-13)

特別損益増減

投資有価証券売却益	-307 (+307→0)
投資有価証券評価損	+24 (-26→-2)
資産除去債務適用影響	+23 (-23→0)
生産拠点等統合費用	-25 (0→-25)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度Q2	2011年度Q2	増減	2010年度Q2	2011年度Q2	増減
エネルギー	169	203	34	3	20	17
産業システム	333	327	-6	-13	-5	8
社会システム	500	529	28	-42	-33	9
パワエレ機器	388	415	27	-7	-18	-12

▶エネルギー

発電プラント分野は、前期受注の新設プロジェクトが売上に寄与したことおよびコストダウンにより、また、原子力・放射線分野は、放射線量計の需要増等により、売上高、営業損益ともに前年同期を大幅に上回る。

▶産業システム

売上高は、大口案件の減少により、前年同期を若干下回る。

営業損益は、コストダウンおよび経費圧縮により、前年同期を上回る。

▶社会システム

当第2四半期累計期間より、当部門の内訳区分・名称を、スマートコミュニティ分野、流通システム分野および社会情報システム分野から、エネルギー流通分野、店舗流通分野および社会情報分野に変更する。

変電関連の設備投資および節電対応による店舗改装物件の増加、ならびに、コストダウンにより、売上高、営業損益ともに前年同期を上回る。

▶パワエレ機器

ドライブ分野においては、売上高は、震災復興需要およびアジア・中国向け需要増により前年同期を上回るが、営業損益は、為替の円高進行および中国における生産調整等の影響により前年同期を下回る。

パワーサプライ分野においては、データセンター向けの無停電電源装置の需要増により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回る。

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度Q2	2011年度Q2	増減	2010年度Q2	2011年度Q2	増減
電子デバイス	618	582	-36	-19	-7	12
内、ディスク媒体	198	143	-55	-23	-13	10
器具	315	346	31	10	20	10
自販機	398	399	1	-24	-9	15
その他	514	504	-10	-4	2	6
消去または全社	-260	-251	9	-15	-26	-11
合計(①+②)	2,975	3,053	78	-110	-56	54

▶電子デバイス

【パワー半導体】産業分野にてインバータ、産業機械等の需要が拡大したこと、および、自動車電装分野にて震災以降低迷していた需要が回復したことにより、売上高、営業損益とも前年同期を上回る。

【ディスク媒体】売上高は、需要減および為替悪化により、前年同期を下回る。

営業損益は、事業構造改革による原価低減および固定費の削減により、前年同期を上回る。

▶器具

アジア・中国向けの需要増等を背景に、国内・海外市場ともに伸長し、売上高、営業損益とも前年同期を上回る。

▶自販機

売上高は、省エネ環境対応型自販機および災害対応型自販機の需要が増加したが市場価格の低下により、前年同期並みとなる。営業損益は、事業構造改革による原価低減および固定費削減により前年同期を上回る。

売上高は計画を下回ったものの、営業損益は固定費減等により改善

(単位:億円)

	2011年度Q2累計		
	予想(7/28)	実績	増減
売上高	3,160	3,053	-107
営業損益	-85	-56	29
経常損益	-125	-98	27
四半期純損益	-70	-54	16

営業損益増減

固定費減	+42	為替影響	-3
コストダウン	+8	物量減・他	-26
価格ダウン	+8		
	+58		-29

平均為替レート US\$	¥ 80.87	¥ 79.82	-¥1.05
平均為替レート EURO	¥ 111.20	¥ 113.79	¥2.59

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	予想(7/28)	実績	増減	予想(7/28)	実績	増減
エネルギー	220	203	-17	14	20	6
産業システム	345	327	-18	-10	-5	5
社会システム	530	529	-1	-34	-33	1
パワエレ機器	450	415	-35	-15	-18	-3

➤ **エネルギー**

売上高は、大口案件の下期への延伸により計画を下回るが、営業損益は、放射線量計の需要増等により、計画を上回る。

➤ **産業システム**

売上高は、中小口案件の減少等により計画を下回るが、営業損益は、経費削減等により、計画を上回る。

➤ **社会システム**

売上高、営業損益とも計画通り。

➤ **パワエレ機器**

中国経済成長の鈍化等の影響に伴い駆動制御分野の需要が減少し、売上高、営業損益とも計画を下回る。

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	予想(7/28)	実績	増減	予想(7/28)	実績	増減
電子デバイス	615	582	-33	-17	-7	10
内、ディスク媒体	163	143	-20	-14	-13	1
器具	355	346	-9	24	20	-4
自販機	390	399	9	-11	-9	2
その他	490	504	14	-3	2	5
消去または全社	-235	-251	-16	-33	-26	7
合計(①+②)	3,160	3,053	-107	-85	-56	29

▶電子デバイス

【パワー半導体】中国経済成長の鈍化および欧米経済の悪化により産業分野の需要が減少し
売上高は計画を下回るものの、経費削減により営業損益は計画を上回る。

【ディスク媒体】売上高は、需要減等により計画を下回るが、
営業損益は、事業構造改革による原価低減および固定費の削減により計画通り。

▶器具

中国経済成長の鈍化等の影響に伴い、売上高、営業損益とも計画を下回る。

▶自販機

売上高は、省エネ環境対応型自販機および災害対応型自販機の需要の増加により計画を上回る。
営業損益は、増収ならびに事業構造改革による原価低減および固定費削減により計画を上回る。

2011年度第2四半期末 連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	11/3/31	11/9/30	増減
現金及び預金	819	284	-535
売上債権	1,974	1,488	-485
棚卸資産	1,095	1,489	395
その他	543	539	-4
流動資産 計	4,430	3,800	-630
有形固定資産	1,659	1,572	-87
無形固定資産	101	100	-2
投資その他の資産	1,866	1,617	-249
固定資産 計	3,627	3,289	-338
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	8,058	7,090	-968

負債、純資産の部	11/3/31	11/9/30	増減
買入債務	1,347	1,163	-184
金融債務	2,740	2,312	-428
その他負債	2,222	2,055	-167
負債 合計	6,309	5,530	-779
資本金	476	476	-
資本剰余金	467	467	-0
利益剰余金	544	477	-67
自己株式	-71	-71	-0
株主資本	1,416	1,349	-67
その他の包括利益累計額	138	14	-124
少数株主持分	196	197	2
純資産 合計	1,749	1,560	-190
負債・純資産 合計	8,058	7,090	-968
自己資本比率(%)	19.3	19.2	-0.1
ネットD/Eレシオ(倍)	1.2	1.5	+0.3

手元資金による社債償還を実施

(単位:億円)

	2010年度 Q2累計	2011年度 Q2累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	241	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	867	-92
フリー・キャッシュ・フロー	1,108	-48
財務活動によるキャッシュ・フロー	-784	-479
換算差額等	0	-7
増 減	324	-534

社債償還

現金及び現金同等物の期首残高	373	818
現金及び現金同等物の期末残高	697	284

2011年度通期業績予想

2011年度通期予想 連結業績概要

(単位:億円)

	2010年度	2011年度		増減	
	実績	予想 (7/28)	予想 (10/27)	対前年	対前回 予想
売上高	6,891	7,300	7,200	309	-100
営業損益	119	220	220	101	0
経常損益	72	200	200	128	0
当期純損益	151	120	120	-31	0
平均為替レート US\$	¥ 85.72	¥ 80.44	¥ 78.41	¥ -7.31	¥ -2.03
平均為替レート EURO	¥ 113.12	¥ 108.10	¥ 109.40	¥ -3.72	¥ 1.30

下期の前提為替レート

	US\$	EURO
前提為替レート	¥ 77.00	¥ 105.00
1円影響*(億円)	1.7	0.5

【参考】 *営業損益ベース

前回の前提為替レート	¥ 80.00	¥ 105.00
------------	---------	----------

2011年度通期予想 セグメント別売上高・営業損益(対前年)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	2010年度 実績(参考)	2011年度 予想(10/27)	増減	2010年度 実績(参考)	2011年度 予想(10/27)	増減
エネルギー	495	656	161	56	81	26
産業システム	816	825	9	16	30	14
社会システム	1,342	1,417	75	28	54	26
パワエレ機器	881	962	80	22	33	11
電子デバイス	1,259	1,181	-78	-20	7	28
内、ディスク媒体	404	280	-123	-52	-3	49
器具	655	686	32	29	34	5
自販機	858	815	-42	4	19	15
その他	1,159	1,159	0	21	23	2
消去または全社	-574	-501	73	-34	-61	-26
合計	6,891	7,200	309	119	220	101

2011年度通期予想 セグメント別売上高・営業損益(対予想)

(単位:億円)

	売上高			営業損益		
	予想(7/28)	予想(10/27)	増減	予想(7/28)	予想(10/27)	増減
エネルギー	630	656	26	63	81	18
産業システム	820	825	5	22	30	8
社会システム	1,400	1,417	17	51	54	3
パワエレ機器	1,000	962	-38	41	33	-8
電子デバイス	1,318	1,181	-137	33	7	-26
内、ディスク媒体	350	280	-70	0	-3	-3
器具	700	686	-14	40	34	-6
自販機	790	815	25	14	19	5
その他	1,175	1,159	-16	17	23	6
消去または全社	-533	-501	32	-61	-61	0
合計	7,300	7,200	-100	220	220	0

今期中間配当は1株当たり2円に決定

(単位:円)

	中間	期末	年間
2009年度実績	0.00	1.50	1.50
2010年度実績	2.00	2.00	4.00
2011年度予想	2.00	未定	未定

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。